

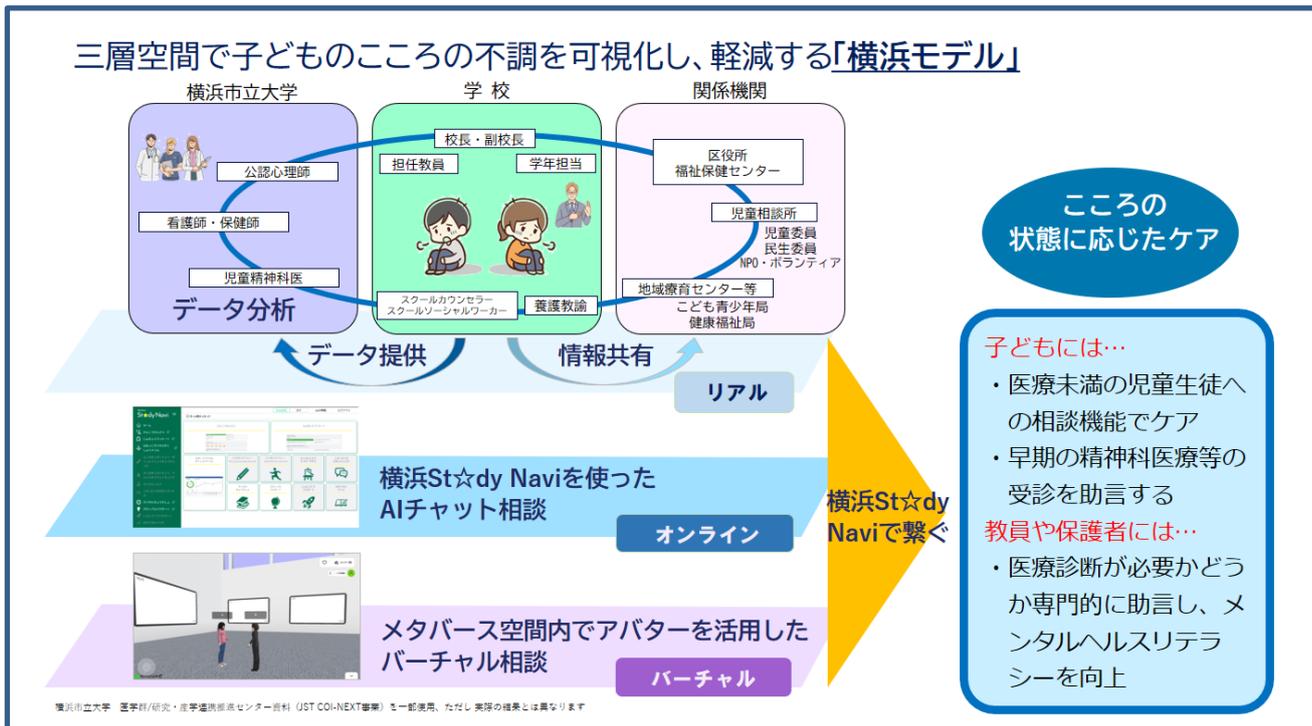
子どものこころの変化をとらえ 安心な学びの環境をつくる 「横浜モデル」が始動します

～横浜教育データサイエンス・ラボ発の医療×教育ビッグデータの連携～

横浜市では、令和6年6月から「横浜 St☆dy Navi」を導入し、児童生徒約26万人の教育ビッグデータを活用する取組を行っています。また併せて、9月には「第1回 横浜教育データサイエンス・ラボ」を開催し、教員、大学、企業との共創によりデータ分析を行い、エビデンスに基づく学びの実現や、教育内容の充実を図っています。

この度、横浜市教育委員会は横浜市立大学と「共同研究契約」を締結し、横浜市の教育ビッグデータを医療の専門的知見に基づいて分析し、子どものこころの状態に応じたケアにつなげる「横浜モデル」の構築に向けた取組を進めていきます。今後、モデル校を設置し、「第2回 横浜教育データサイエンス・ラボ」で、子どものこころの変化を捉え、不調を軽減する「横浜モデル」への期待や課題について議論します。

三層空間で子どものこころの不調を可視化し、軽減する「横浜モデル」



◆ 横浜教育データサイエンス・ラボ(Data Science Lab)とは

- 若手から中堅の教職員、専門的な知見をもつ大学研究者、データの分析・加工の専門的な技術をもつ企業で形成される研究の場
- 教員の課題感や求める効果を出発点とし、大学や企業の知見やノウハウを組み込んで研究をする
- 児童生徒約26万人の教育データを分析し、教職員や子どもたちに有効な「教育データ」を提供する

【裏面あり】



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



第2回 横浜教育データサイエンス・ラボ

- 1 概要 開催日時：令和6年11月21日（木）15：00～16：45
会場：Y-PORT センター公民連携オフィス 情報発信拠点 GALERIO
（横浜市西区みなとみらい一丁目1番1号 横浜国際協力センター6階）

- 2 参加者（予定）
横浜市立小・中・義務教育・高等・特別支援学校の教職員
横浜国立大学、横浜市立大学
内田洋行、コニカミノルタ、ベネッセ、パナソニック他

3 次第

- (1) 横浜市立大学との共同研究契約締結式
- (2) 「横浜モデル」の概要
- (3) 横浜市立大学・企業・教育委員会による鼎談
- (4) グループディスカッション

【テーマ】

子どものこころの変化をとらえ、不調を軽減する
「横浜モデル」の試行にあたっての期待や課題

- (5) 今後の横浜教育データサイエンス・ラボやモデル校での実施に向けて



第1回 横浜教育データサイエンス・ラボの様子

4 取材について

当日取材を希望される場合は、11月20日（水）正午までに別添の「報道関係者取材申込書」をFAX又はE-mailでお送りください。なお、取材・撮影等にあたっては現地担当者の指示に従っていただきますようお願いいたします。14：45より登壇者による集合写真の撮影を行います。集合写真の撮影もしていただける場合は、14：40までに会場にお越しください。

5 会場アクセス

Y-PORT センター公民連携オフィス 情報発信拠点 GALERIO

〒220-0012

横浜市西区みなとみらい一丁目1番1号

横浜国際協力センター6階

<https://yport.city.yokohama.lg.jp/>

- 桜木町駅（JR・市営地下鉄）から
徒歩10分
- みなとみらい駅（みなとみらい線）から
徒歩5分



お問合せ先

教育委員会事務局教育課程推進室長 丹羽 正昇 Tel 045-671-3723



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



送付書不要

【送付先】 横浜市教育委員会事務局 教育課程推進室

F A X 045-664-5499

E-mail ky-kyoikukatei@city.yokohama.jp

報道関係者 取材申込書

11月21日(木) 「横浜教育データサイエンス・ラボ」

① 報道機関名	
② 申込代表者名	
③ 取材人数(②の方も含む)	
④ 連絡先(携帯等)	
⑤ ムービーカメラの有無 (該当するものに○)	有 (台) ・ 無
⑥ スチールカメラの有無 (該当するものに○)	有 (台) ・ 無
⑧ 備考	

令和6年11月20日(水) 正午までに必要事項をご記入のうえ、お申込みください。



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

